

2023年度（2024年3月期） 第3四半期決算説明資料

2024年2月9日

H.U.グループホールディングス株式会社

（証券コード：4544）

- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
- ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益」を「当期（四半期）純利益」と省略する場合があります。
- ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
- ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In-Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2022年度1-3Q : 1USD = 136.53 JPY 1EURO = 140.59 JPY

2023年度1-3Q : 1USD = 143.30 JPY 1EURO = 155.29 JPY

- ※ 2022年度において行われたADx NeuroSciences N.V.およびFluxus, Inc.の企業結合に係る暫定的な会計処理が2022年度末に確定しており、2022年度における各数値については、取得原価の当初配分額を見直し、遡及処理しております。

2023年度第3四半期業績概況

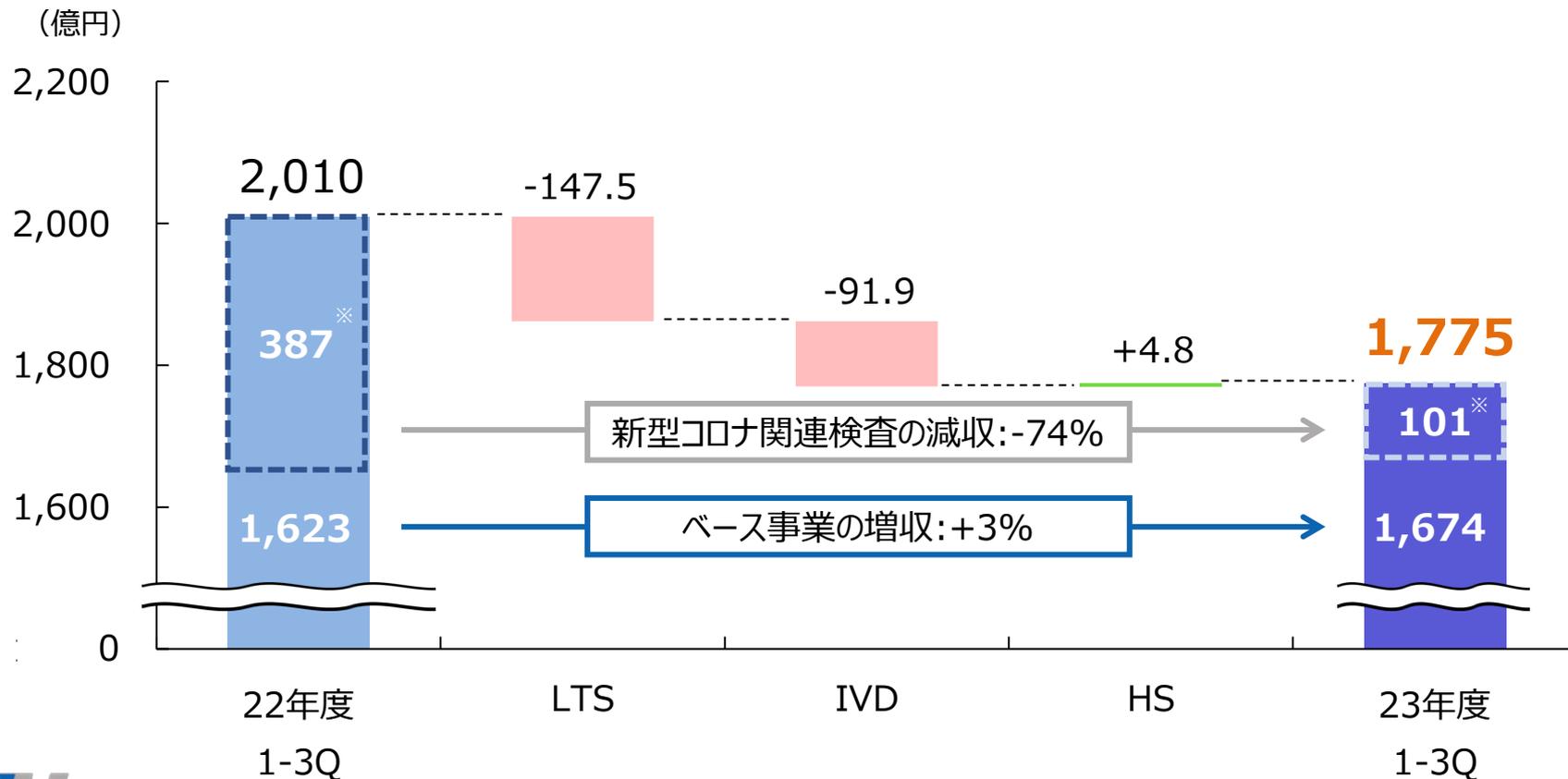
連結業績（対前年同期比）

（億円）

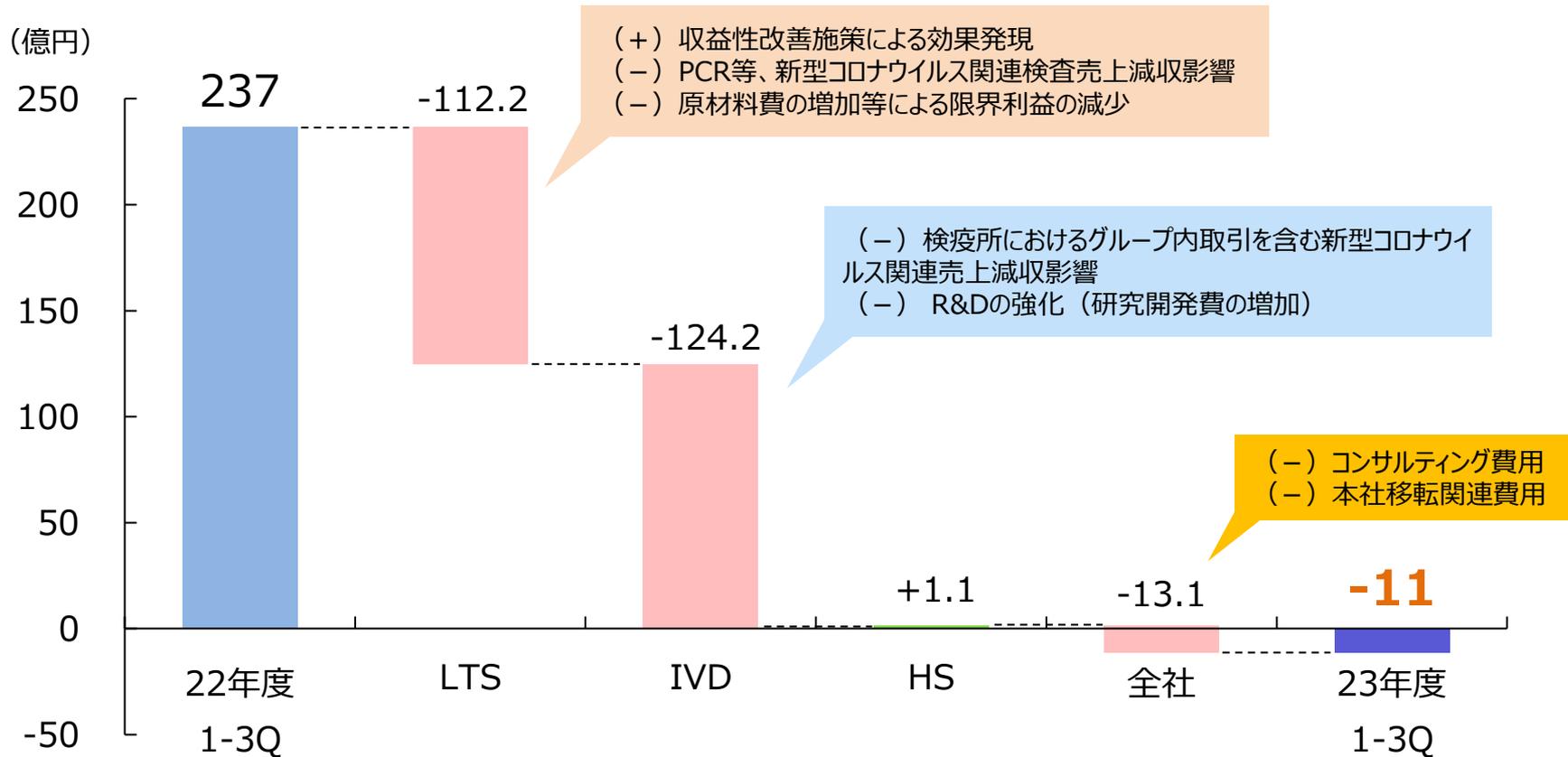
	22年度 1-3Q		23年度 1-3Q		対前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減	
売上高	2,010		1,775		-234.5	-11.7%
LTS	1,247		1,100		-147.5	-11.8%
IVD	556		464		-91.9	-16.5%
HS	206		211		+4.8	+2.3%
営業利益/損失 ※	237	11.8%	-11	-0.6%	-248.3	-
LTS	27	2.1%	-86	-7.8%	-112.2	-
IVD	235	42.2%	110	23.8%	-124.2	-52.9%
HS	8	4.0%	9	4.4%	+1.1	+13.6%
経常利益/損失	232	11.5%	-29	-1.6%	-260.7	-
四半期純利益/純損失	188	9.4%	-33	-1.9%	-221.9	-
EBITDA	380	18.9%	143	8.0%	-237.8	-62.5%

※ 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（22年度1-3Q：▲32.6億円、23年度1-3Q：▲45.6億円）

連結売上高 (対前年同期比)



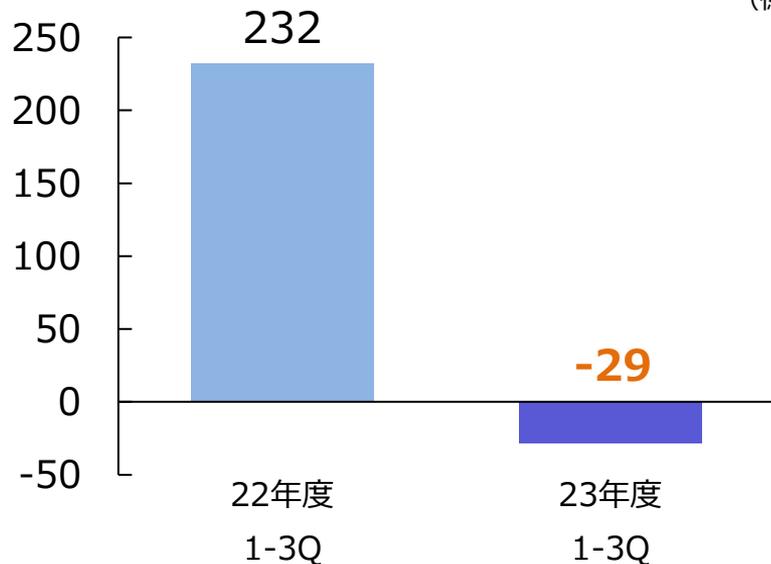
連結営業利益（対前年同期比）



連結経常利益/損失および四半期純利益/純損失

経常利益/損失

(億円)

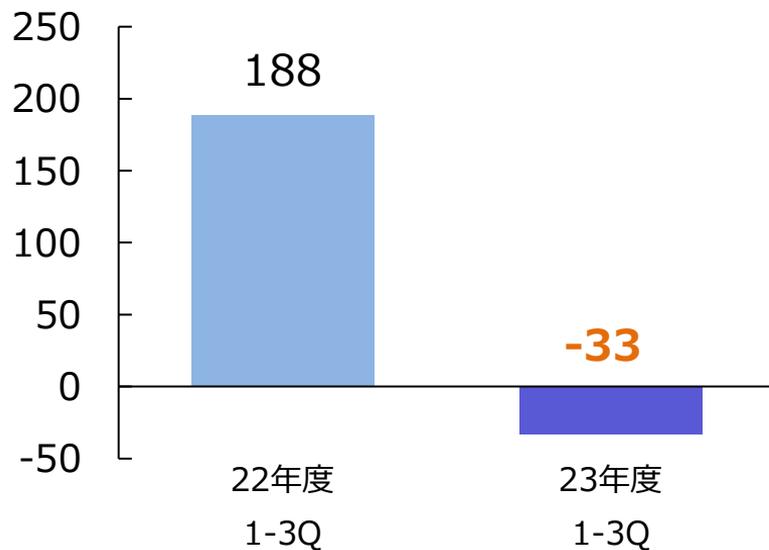


主な営業外損益

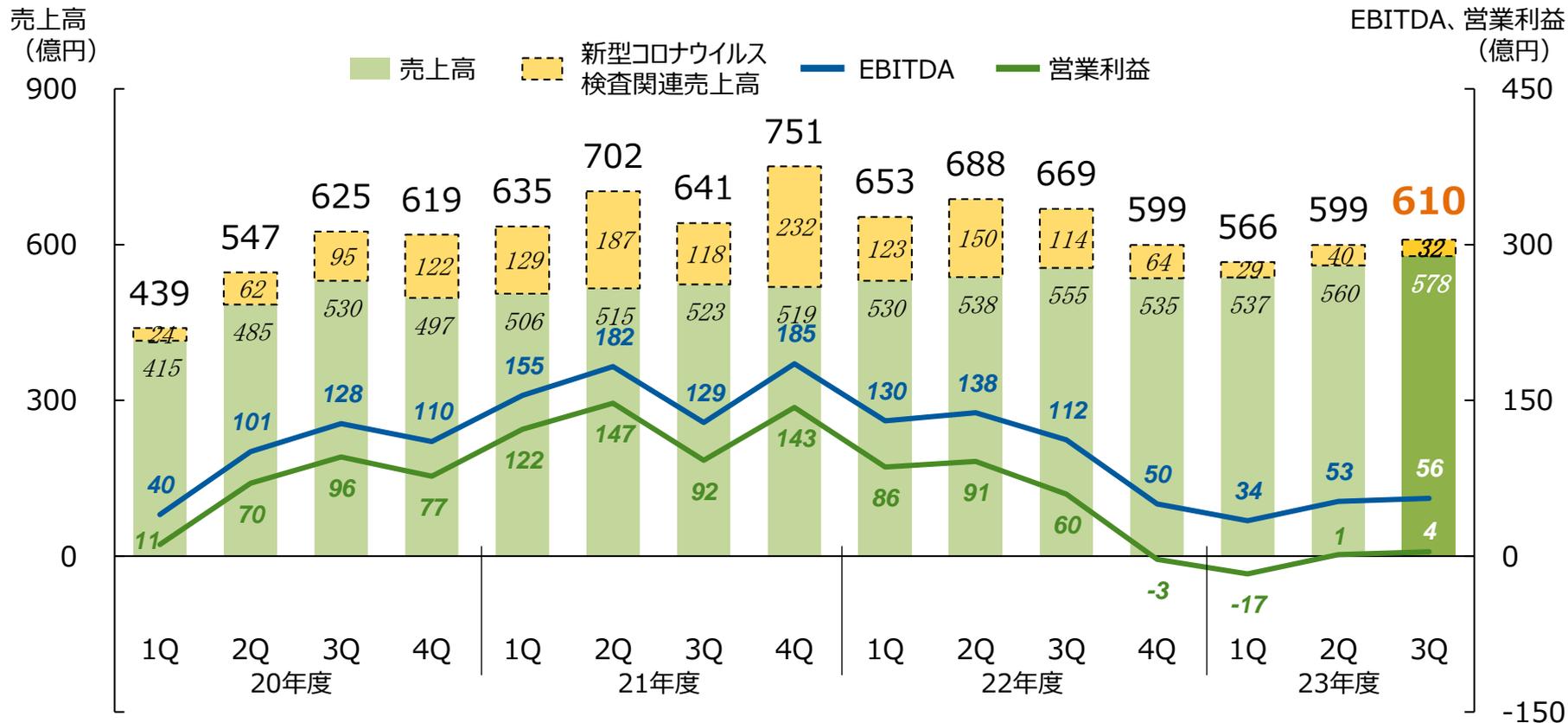
- 為替差益 4.1億円
- 持分法による投資損失 18.4億円

四半期純利益/純損失

(億円)

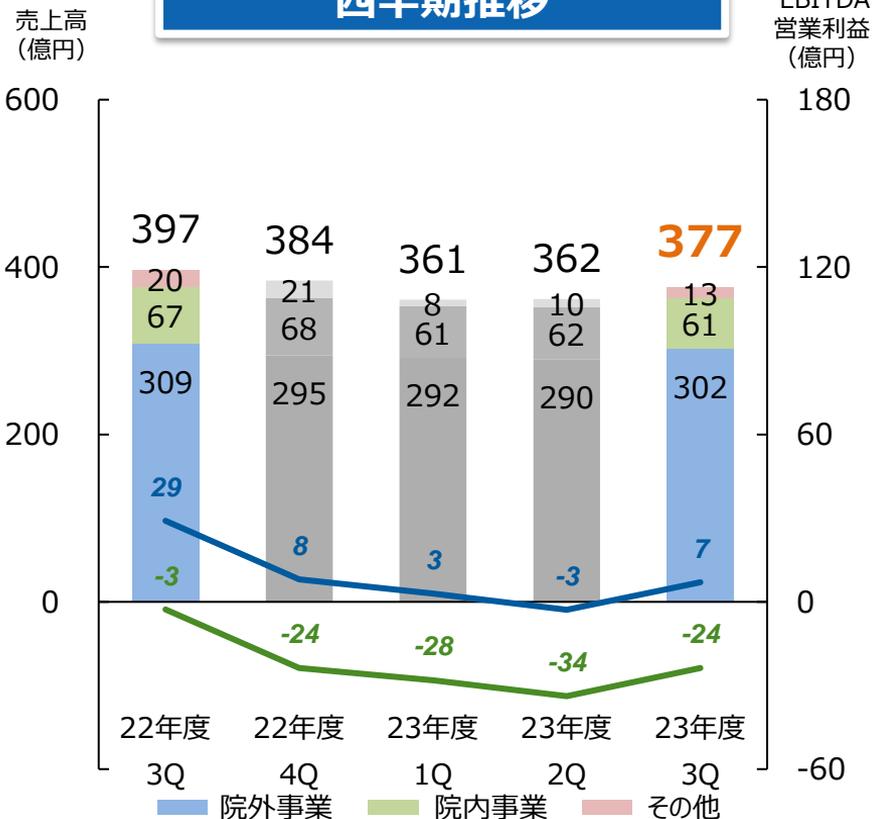


四半期毎の業績推移



LTS事業

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	22年度 1-3Q	23年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	1,247	1,100	-147.5	-11.8%
院外事業	957	885	-72.8	-7.6%
院内事業	241	184	-56.6	-23.5%
その他	49	31	-18.0	-37.0%
EBITDA	115 9.2%	7 0.6%	-107.5	-93.8%
営業利益	27 2.1%	-86 -7.8%	-112.2	-

売上高

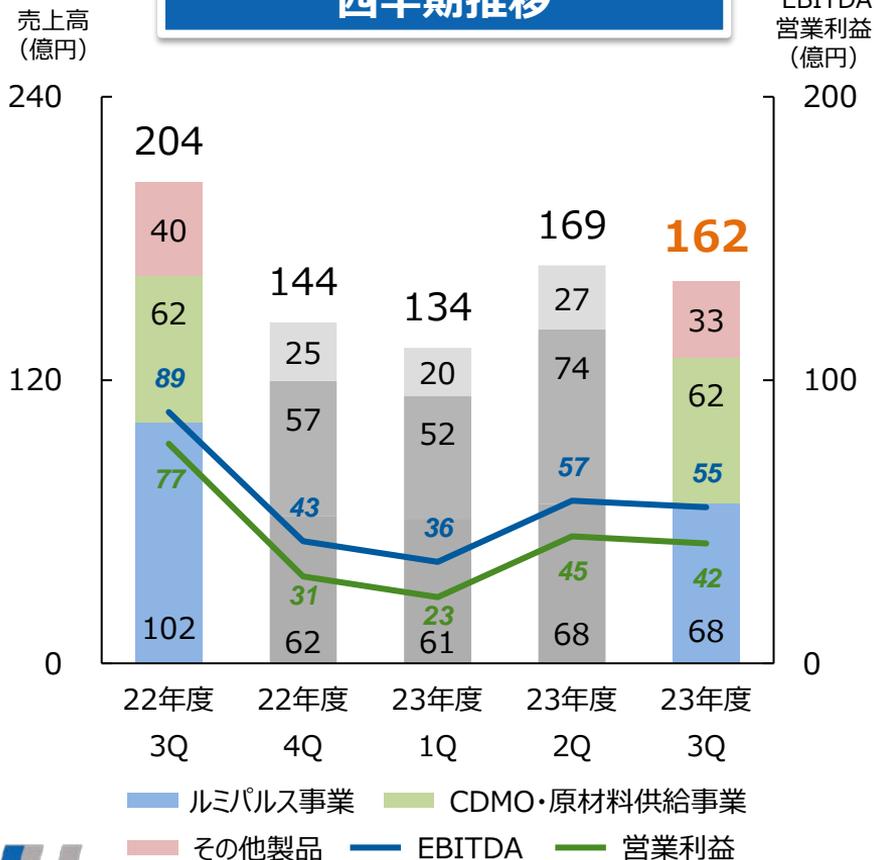
- 新型コロナウイルス関連：約30億円（前年同期：約206億円）
 ✓ 主にPCR検査、空港検疫所における抗原定量検査の減少
- 遺伝子関連検査の増加

営業利益

- 収益性改善施策による効果発現
- 新型コロナウイルス関連検査の減少による減益
- 原材料費の増加等による限界利益の減少

IVD事業

四半期推移



対前年同期比

(億円)

	22年度 1-3Q	23年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	556	464	-91.9	-16.5%
ルミパルス	281	196	-84.6	-30.1%
国内	252	171	-81.3	-32.2%
海外	29	25	-3.3	-11.5%
CDMO・原材料	175	188	+12.5	+7.1%
その他	100	80	-19.8	-19.9%
EBITDA	265	148	-117.2	-44.1%
営業利益	235	110	-124.2	-52.9%

ルミパルス 内販売上高	55	34	-21.1	-38.5%
-------------	----	----	-------	--------

売上高

- 新型コロナウイルス関連：約71億円（前年同期：約181億円）
 ✓ 国内・海外ルミパルス、エスプラインの減収
- 円安の影響もありベース事業は伸長

営業利益

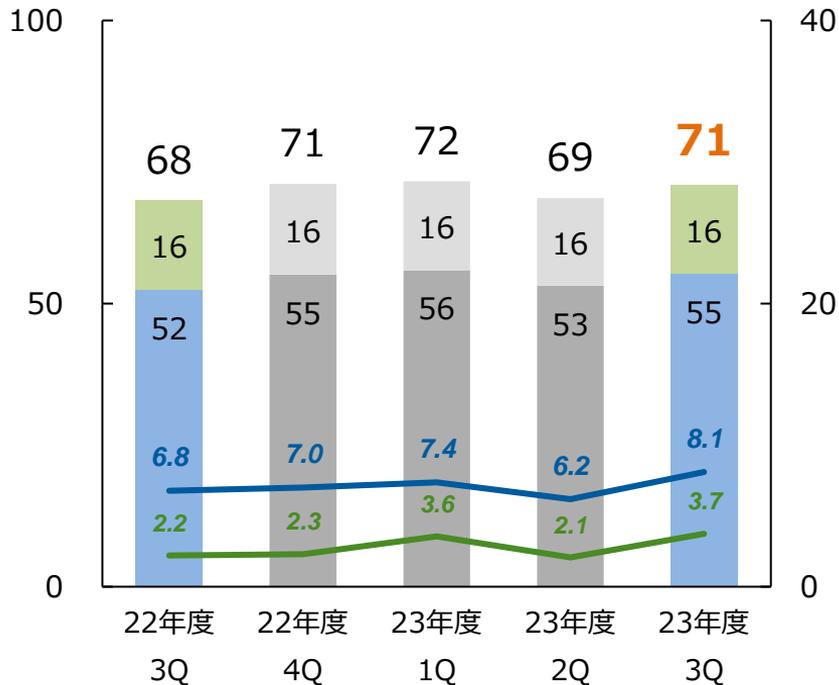
- 新型コロナウイルス関連売上高の減少にともない利益が減少
- R&Dの強化（研究開発費の増加）

為替影響（売上高：+13.7億円、営業利益：+2.0億円）

HS事業

四半期推移

売上高
(億円)



■ 滅菌関連事業 ■ 在宅・福祉用具事業
— EBITDA — 営業利益

EBITDA
営業利益
(億円)

対前年同期比

(億円)

	22年度 1-3Q	23年度 1-3Q	対前年同期比 増減	
売上高	206	211	+4.8	+2.3%
滅菌関連	160	164	+4.6	+2.9%
在宅・福祉用具	47	47	+0.2	+0.4%
EBITDA	20.6	21.7	+1.1	+5.1%
営業利益	8.3	9.4	+1.1	+13.6%

売上高

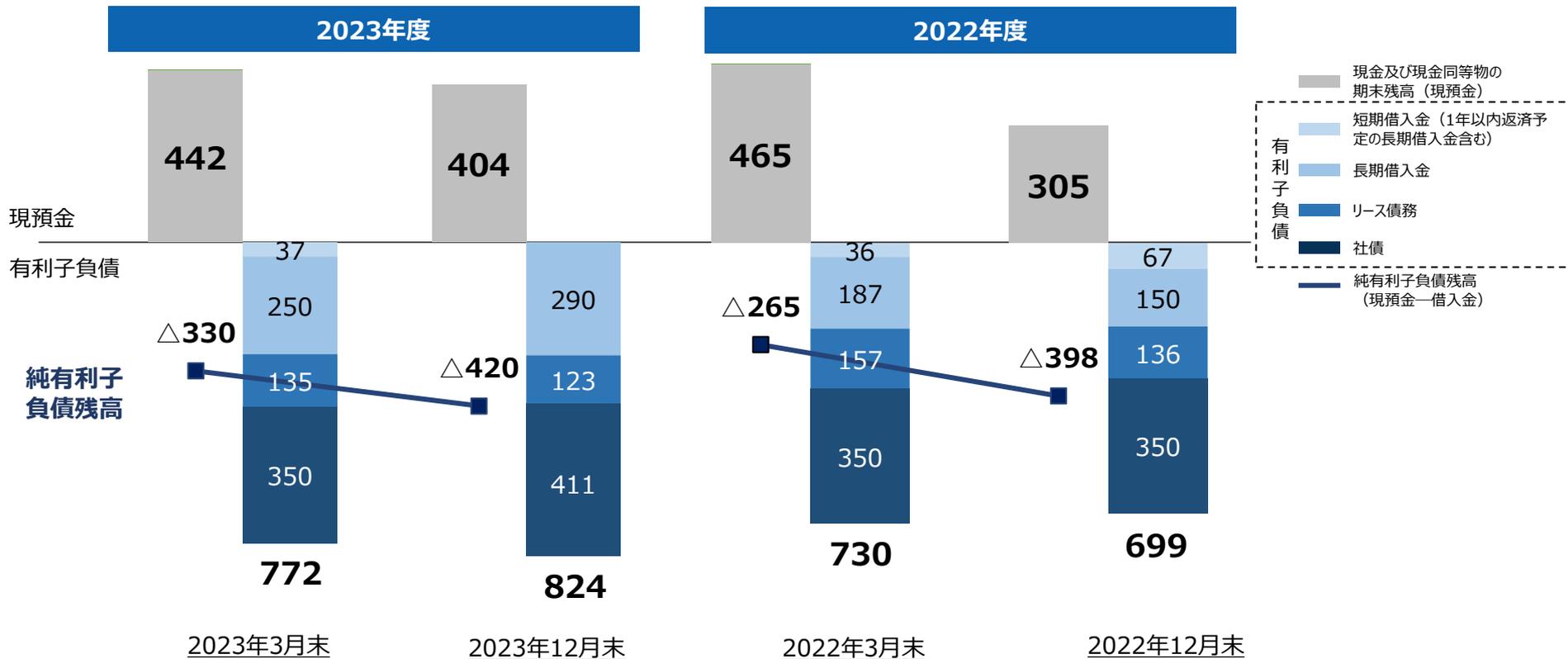
- 滅菌関連事業、在宅・福祉用具事業ともに伸長

営業利益

- 福祉用具事業の収益性改善
- 人件費等の増加

現預金・有利子負債残高

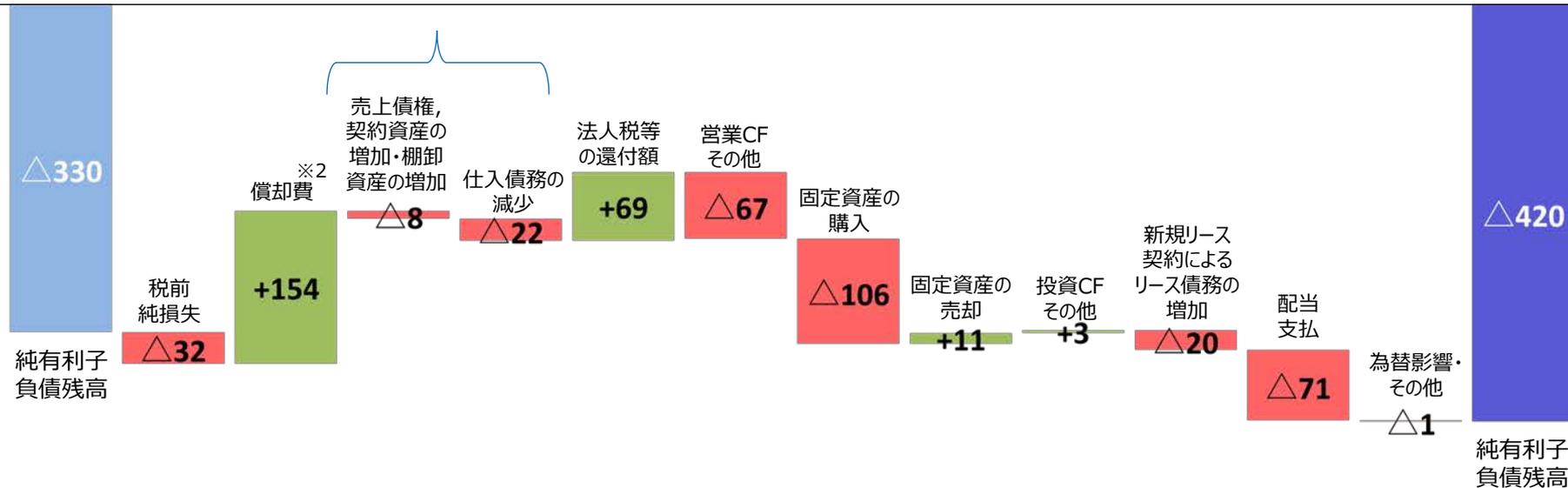
(億円)



2023年度1-3Q連結キャッシュ・フロー（CF）の分析



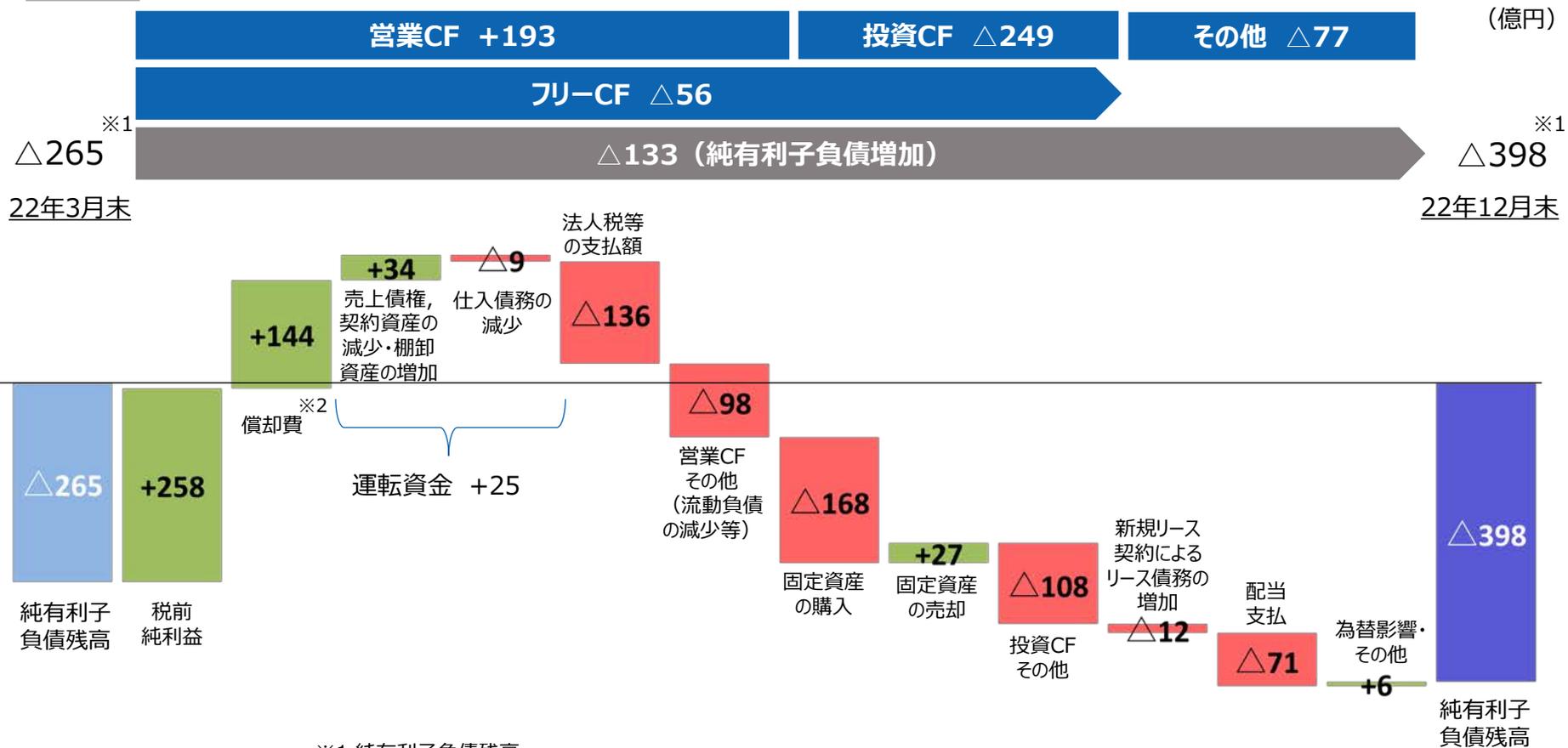
運転資金 △30



※1 純有利子負債残高

※2 減価償却費+のれん償却額

2022年度1-3Q連結キャッシュ・フロー（CF）の分析



2023年度通期の見通し

2023年度通期業績見通し

2023年11月発表時と変更なし

(億円)

	2022年度 実績	2023年度 通期見通し	2023年度 対前年同期比		2023年度 1-3Q実績	2023年度 4Q見込み(参考)
売上高	2,609	2,400	-209	-8.0%	1,775	625
EBITDA	431	250	-181	-42.0%	143	107
営業利益	234	40	-194	-82.9%	-11	51
経常利益	220	25	-195	-88.6%	-29	54
当期純利益	157	0	-157	-100.0%	-33	33
ROE	10.8%	4.0%				
ROIC	7.0%	4.1%				

- ① ベース検査の回復
- ② 収益性改善効果発現
- ③ 新型コロナ関連検査の増加

1-3Qの状況および4Q見通し①

各要素に入り繰りはあるものの、通期では営業利益40億円に着地する見込み

	1-3Q	4Q見通し	備考																				
ベース検査数	想定より遅いものの、12月から回復基調	4Qは想定通りの回復を見込む	<p>病院における月次受付件数Index※ (2022年度 = 100)</p> <table border="1"> <caption>病院における月次受付件数Index (2023年)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>Index</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>92</td></tr> <tr><td>5月</td><td>95</td></tr> <tr><td>6月</td><td>100</td></tr> <tr><td>7月</td><td>100</td></tr> <tr><td>8月</td><td>103</td></tr> <tr><td>9月</td><td>99</td></tr> <tr><td>10月</td><td>100</td></tr> <tr><td>11月</td><td>98</td></tr> <tr><td>12月</td><td>104</td></tr> </tbody> </table>	月	Index	4月	92	5月	95	6月	100	7月	100	8月	103	9月	99	10月	100	11月	98	12月	104
月	Index																						
4月	92																						
5月	95																						
6月	100																						
7月	100																						
8月	103																						
9月	99																						
10月	100																						
11月	98																						
12月	104																						
収益性改善	若干遅延気味	追加施策を講じて効果の最大化を目指す	さらなる検査オペレーションの改善を推進																				

1-3Qの状況および4Q見通し②

	1-3Q	4Q見通し	備考
新型コロナウイルス関連	<ul style="list-style-type: none"> ピークアウトするという見通し通りに着地 ただし12月末より再び感染拡大基調 	新型コロナ関連検査需要が想定を上回る可能性	<p>2023年5月8日週（第19週）以降の新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数※</p> <p>19週 21週 23週 25週 27週 29週 31週 33週 35週 37週 39週 41週 43週 45週 47週 49週 51週 1週 3週</p> <p>2023 2024</p>
CDMO	想定の範囲内で推移	想定通り着地することを見込む	来期以降の成長に向けた開発は順調に進捗

H.U. Bioness Complex関連費用・発現効果の状況

- フル稼働の遅延により、期初年間想定に対して、一時費用増加・効果発現の遅れを見込む
- 減価償却費・ランニングコストは、期初年間想定を下回る見込み

	期初年間想定	23年度1-3Q 実績	23年度通期 見通し	現時点での見込み	
コスト	一時費用	10億円	15億円	20億円	フル稼働へ向けた移行費用が下期継続発生し増加見込み
	減価償却費	61億円	36億円	49億円	期初想定を下回る見込み
	ランニングコスト※	59億円	38億円	54億円	エネルギーコストが想定を下回る
	コスト合計	<u>130億円</u>	<u>89億円</u>	<u>123億円</u>	
効果	効率化効果	+23億円	+8億円	+12億円	効果発現の遅れ

【連絡先】

H.U.グループホールディングス株式会社

IR/SR部 ir@hugp.com

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。